

たちかわ 市議会だより

平成20年(2008年)1月25日発行

編集・発行 © 立川市議会
〒190-0022 立川市錦町3-2-26
電話 (042)523-2111(代表)
創刊/昭和29年12月9日 発行随時/全世帯配布

立川市ホームページ▶ <http://www.city.tachikawa.tokyo.jp/>

第4回 定例会



笑顔がいっぱい! お正月遊び



議長に米村弘議員が就任

歩行喫煙 喫煙制限条例を可決

- 「立川市安全で快適な生活環境を確保するための喫煙制限条例」など市長提出の26議案を全て可決・同意
- 議員提出議案「立川市小中学校等入学祝金の支給に関する条例」は賛成少数で否決
- 「立川市民歌普及に関する請願」、「柴崎図書館の存続・充実に関する陳情」など請願1件、陳情3件を採択
- 監査委員に伊藤幸秀議員を選任

人事紹介

立川市監査委員 伊藤幸秀氏 （新任）	高野範城氏 （新任）	立川市議会委員 藤原修一氏 （再任）	立川市固定資産評価審査 立川市教育委員会委員 中村祐治氏 （新任）	立川市副市長 大霜俊夫氏 （新任）	立川市副市長 越川康行氏 （新任）	立川市副市長 宮田由香氏 （新任）	立川市副市長 大月市富浜町在住 八王子市石川町在住 多摩市聖ヶ丘在住
--------------------------	---------------	--------------------------	--	-------------------------	-------------------------	-------------------------	---

本会議で、次の人事案
件について同意しました。

◆会議の経過◆

～会期16日間～

12月 3日	本会議	会期の決定 一般質問
12月 4日	本会議	一般質問
12月 5日	本会議	一般質問
12月 6日	本会議	議案審議、請願・陳情の付託
12月 7日	総務委員会	
12月10日	厚生産業委員会	
12月11日	環境建設委員会	
12月12日	文教委員会	
12月13日	新庁舎建設・現庁舎敷地 活用特別委員会	
12月17日	議会運営委員会	
12月18日	本会議	議案審議 委員会審査意見報告 ほか 議会運営委員会

主な内容

- 一般質問 2~6面
- 主な議案、議案賛否 6面
- 委員会の活動 7面
- 請願・陳情、意見書 8面

新議長の就任について

12月18日の本会議において議長選挙が行われ、投票の結果、新議長に米村弘議員が選出されました。



▶ 第49代議長 米村 弘(たちかわ自民党)
平成10年初当選し、3期目。この間、副議長、決算特別委員会、議会運営委員会の委員長などを歴任。

私は、平成19年第4回市議会定例会におきまして、議員各位のご推举をいたしました。今、地方自治体は、地方分権が進むなかで自己決定・自己責任が求められています。本市におきましても、依然として厳しい財政状況のなか、安心・安全のまちづくりはもとより、多様化する行政課題や市民のみなさまのご要望にお応えするために、さらなる行政改革の推進が急務です。

市議会においても、市民のみなさまと、行政そして議会が互いに響き合う関係を築き上げるために、「より開かれた議会の推進」に努めつつ、さらなる市政発展と円滑な議会運営に全力を傾注する所存であります。市民のみなさまには、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。



市政の内容を聞く 一般質問 (要旨)

一般質問の内容（質問順）

- | | | | |
|----|---------------|--|--|
| 15 | 福島 | 正美(公明党) | ①地域に開かれた公園の使用について
②子育て世帯や高齢者への居住支援について
③現庁舎敷地利用問題の今後の展開と手法について
④夢育てたちかわ子ども21プランについて
⑤地域包括支援センターについて
⑥ドリーム学園について |
| 17 | 堀江 | 重宏(日本共産党) | ①乳幼児夜間診療事業について
②後期高齢者医療制度について
③特別支援教育について |
| 18 | 上條 | 彰一(日本共産党) | ①燃料・食料品等の高騰への対応について
②青年の雇用の安定と創出への支援策について
③農業支援策の強化について |
| 19 | 古屋 | 直彦(たちかわ自民党) | ①立川の食について
②西武立川駅の北口開設について
③質素で実用的な新庁舎建設について(「安くしてよ
りよい」新市庁舎を)
④「防災・減災」家具転倒防止器具取付事業の拡大
について |
| 20 | 五十嵐 | けん(社会民主党・みどり立川・市民の党) | ①談合や不正をなくし、より競争性を高める入札
改革と施策について
②隗より始める「行財政改革」を
③柴崎図書館の存続について(市長部局に対しても
「おもてなしの心」あふれる立川市に
②女性と子どもの笑顔あふれるまちづくりを
③西砂地域のまちづくり) |
| 21 | 岩元 | 喜代子(公明党) | ①市職員の中の正規職員・嘱託職員臨時職員について
②レセプト点検について
③国民保護法への対応について |
| 22 | 清水 | 孝治(たちかわ自民党) | ①財政について、新市長の見解を求めます |
| 23 | 大沢 | 豊(社会民主党・みどり立川・市民の党) | ①市職員の中の正規職員・嘱託職員臨時職員について
②レセプト点検について
③国民保護法への対応について |
| 24 | 矢島 | 重治(社会民主党・みどり立川・市民の党) | ①図書館について
②医療制度改悪について
③交通対策について |
| 1 | 米村 弘(たちかわ自民党) | ①立川市まちづくりの方向性について
②教育委員会の所管事務について
③ワンルームマンションの対策について
④駐輪場対策と放置自転車対策について
⑤環境対策について
⑥北口まちづくりについて
⑦中学校学校選択制実現に向けての具体的な施策を | |
| 2 | 大石 | ふみお(市民フォーラム) | ①子ども食の安全と地産地消推進について
②子どもの読書推進について
③実効ある防犯対策の構築について |
| 3 | 中山 | ひと美(たちかわ自民党) | ①介護と介護予防について
②自転車駐輪場について
③行政と業者の関係について
④子どもの読書推進について |
| 4 | 木原 | 宏(たちかわ自民党) | ①保育園の資質向上と待機児童解消に向けて
②子どもの食の安全と地産地消推進について
③農業支援策の強化について
④葬祭事業について |
| 5 | 伊藤 | 大輔(市民フォーラム) | ①安全で優しいまちづくりについて
②子育て支援の拡充について
③地域における防災倉庫について
④柴崎図書館のあり方について
⑤柴崎図書館のあり方について |
| 6 | 伊藤 | 幸秀(公明党) | ①葬祭事業について
②住宅施策について
③安全で優しいまちづくりについて
④子育て支援の拡充について
⑤柴崎図書館のあり方について |
| 7 | 中島 | 光男(公明党) | ①電子社会・電子行政について
②市民の暮らしの向上について
③国際法務総合センター(仮称)の整備について
④福祉政策の充実について
⑤後期高齢者医療制度について |
| 8 | 梅田 | 春生(市民フォーラム) | ①野良猫と地域猫飼い猫について
②地域における防災倉庫について
③国際法務総合センター(仮称)の整備について |
| 9 | 高口 | 靖彦(公明党) | ①電子社会・電子行政について
②市民の暮らしの向上について
③国際法務総合センター(仮称)の整備について |
| 10 | 太田 | 光久(市民フォーラム) | ①地方財政健全化法について
②後期高齢者医療制度について
③福祉政策の充実について |
| 11 | 堀 | 憲一(公明党) | ①行財政改革について
②安心・安全のまちづくりについて
③玉川上水・残堀川の環境整備について |
| 12 | 早川 | 輝(日本共産党) | ①学校教育について
②商業振興策について
③曙町運動広場について |
| 13 | 浅川 | 修一(日本共産党) | ①防災対策について
②商業振興策について
③曙町運動広場について |



放置自動二輪車 防止条例制定委員会

条例制定に向け準備

由山 ひと美(たちかわ自民党)

エコキャップ運動 積極的に取り組むべき

市民主体の活動を側面 から応援したい

木石 あみお(市民フォーラム)

南口まちづくりの 位置づけは

グランドデザインを策定したい

米村 弘（たなかわ自民党）

問 都市軸などには、違法駐車バイク台数が改善されないままに、日増しに増えています。そこで大型二輪など、違法駐車のバイクに対しての禁止区域設定などの条例化を提案します。

違法駐車については、警察に連絡するだけでは駐車違反の取り締りにはならないため、専門の指導員を配置し、すぐ撤去し、罰金、手数料などをとるべきだと思います。日増しに違法駐車が増えている現状から、市は徹底した断固たる姿勢を示すべきです。

問 工エキヤツフ運動は再資源化による地球環境保護の保全と、キヤップの売却による活動です。これを市で行えば、キヤップを外すための労力も省けて一石三鳥の施策となることから、公共施設における回収箱の設置等を積極的に行うべきと考えます。

また、児童生徒の環境・情操教育の一環として、教育委員会主導により市内小中学校を回収拠点とした運動の展開はできぬのでしょうか。

問 現序舎敷地の活用問題は、現序舎の敷地にとどまらず、都合同庁舎や病院等を含む周辺全域、官公庁の移転後空き地の活用に至るまで規模が大きくなっています。今後の利用計画によつては南北のみならず、市全体の将来に影響を及ぼす重要な事柄に発展するのではないか。

市全域を眺めた上で、それぞれの地域の特性を最大限引き出し、他地域との関連を考慮し、元住民の生活向上を確保しつつ市全体にとつて最良の結果をもたらす計画を策定すべきです。

答　自動二輪車を対象とした放置防止条例は自動二輪車対策として有効なものと考えており、年度内の制定に向けて準備を進めています。エリニアとしては自転車等放置防止条例に準じた範囲を考えています。禁止区域内の放置自動二輪については、条例違反を根拠として、警察に撤去を求めていく考えですが、罰金、罰則を設けることは現在考えていません。

またハード面では、自動二輪車用の駐車場整備補助金制度を創設し、民間経営を誘導促進する方法も、現在進めています。

答
多くの市民や団体が自
主的に取り組んでおり、大変良
いことと認識しています。しか
し、公共施設への回収箱の設置
については、キヤップをどの団
体へ渡すかなどの課題も多くあ
ります。市としては市民主体の
活動に対し、側面から応援して
いきたい。

教育委員会としても、一律に
学校に実施させるものではなく、
校長の判断で行うものと考え
ています。ただ、PTA等が主
体となり、活動を広げることに
は何らかの配慮をしていきたい。

答 現庁舎の敷地利用に係る検討を行なうとともに、関係機関と緊密な協議等を行ないます。同時に、現庁舎敷地や周辺地区のまちづくりの調査等を実施することにより、当該地区のグランドデザインを策定していくたい。

また、地域ごとの計画を統合する大きな計画は、都市計画マスター・プランに基づき進めてきましたが、景観や文化の視点が若干欠けています。今後はこの視点も入れた中で、市全体の総合的なデザイン、計画策定を考えていきます。



認知症対策、 早期発見が重要

群馬県の検診を今後参考

伊藤 幸秀(公明党)

問 認知症医療と介護をどう進めていくかは深刻な課題です。認知症高齢者の大半は、病気とは気づかれずに放置されていることが多いのが現状です。症状が発見される段階によって、その後の回復が大きく違つてくることが研究されており、早期発見は大変重要です。群馬県では、検診を早期発見の項目に絞つて実施する等、気軽に受診できる工夫をした結果、受診者が増えています。本市においても、群馬県と同様な早期発見の取り組みを行つてはどうでしょうか。

答 認知症の対策については、地域密着型介護及び同予防サービスとして、市内12ヶ所の民間事業所が通所介護を、地域包括支援センターの活動においては家族介護教室や介護予防教室の中で認知症予防に支援に係る機能充実を図りたい。対応しています。市では自己診断のできる認知症の予防パンフレットを作成して、介護予防教室や老人会の健康教室等で活用しており、当面はこれを使用していく考えです。群馬県の検診につきましては、貴重な意見として今後参考にしていきたい。

保育園クラス編制等、 柔軟な対応を

保育士の配置等の見直し
を検討

伊藤 大輔(市民フォーラム)

問 待機児童は、主に年齢の低いクラスに多く発生しています。反面、園によつては年齢が上のクラスで10名以上の空きがでている状況もあります。空きが多いクラスから、待機児童の多いクラスへ多くの保育士を配置して受入枠を増やすなど、クラス編制や保育士の配置を柔軟に行うことでの、待機児童を減少させる効果があるのではないかでしょうか。

答 待機児童の多い1・2歳児の受入枠の拡大に向けて、現在、公立保育園全園における職員の配置体制等の見直しを行い、保育士からの提案を受けて、調整を図っています。来年度当初の受入枠においては、待機児童の多い1・2歳児を中心に、10人前後の拡大を見込んでいます。また、保育内容などの充実について、工夫をしながら予算措置を講じるとともに、保育園での蓄積した経験と組織力、経験豊かな人材を活用し、子育て支援に係る機能充実を図りたい。



防犯活動に警察との 緊密な連携を

警視庁から防犯担当として派遣

木原 宏(たちかわ自民党)

問 行政やボランティアによる防犯活動をより実効性のあるものとするには、警察との緊密な関係を充実させ、一丸となつて犯罪の発生しにくい環境をつくり、起こった犯罪には断固とした対処を進めていくべきです。また、つきまで等防止条例には、はつきりと「警察との一層の協力体制を確立し」という文言を加えるなどして、法文上でもレベルアップを図つてはどうでしょうか。

答 市民の安心・安全が、行政執行上の基本であることは十分承知しています。当課で警察署に頻繁に出向いて、さまざまな情報交換などを行っています。条例については、基本条例やつきまで等の条例の中で、警察署とは明記していませんが、「連携を図る関係行政機関」あるいは「連携強化の必要性の考え方」は取り込んだものとしています。



犯罪の発生しにくい環境をつくる
(安全安心パトロール)

柴崎図書館の存続を

子どもに特化して分室に

中島 光男(公明党)

問 柴崎図書館が廃館という話題が広まるに従い、子どもを持つ保護者や高齢の方から一齊に反発の声が広がっています。この地域は市内で最も高齢化が進んでおり、憩いの場ともなる図書館の存在は強く望まれる地域です。また、混雑する駅周辺や幹線道路、あるいは踏切を越えて中央図書館へ行くには、子どもや高齢者には危険です。廃館や利用者を狭める図書室にするとの考えに立つのではなく、今までどおり存続し、逆に多くの市民が利用やすい図書館とすべきです。

答 経営改革プランに沿って、市として平成19年度をもつて廃止の方向性が決定されています。教育委員会としても行財政改革の視点から廃止が決定されたことを重く受け止め、その方向で検討をしてきました。しかし、利用実態や立地などの状況から、図書館機能の一部を残していくたいとの考えを持っています。現在、平成20年度から中央図書館の分室として、子どもに特化させていく方向で検討しているところです。



地域猫化、市の対策は

地域との協力で進めていく

梅田 春生(市民フォーラム)



地域との協力で進めていく

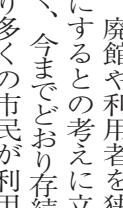
柴崎図書館の存続を

子どもに特化して分室に

中島 光男(公明党)

問 柴崎図書館が廃館といふ話題が広まるに従い、子どもを持つ保護者や高齢の方から一齊に反発の声が広がっています。この地域は市内で最も高齢化が進んでおり、憩いの場ともなる図書館の存在は強く望まれる地域です。また、混雑する駅周辺や幹線道路、あるいは踏切を越えて中央図書館へ行くには、子どもや高齢者には危険です。廃館や利用者を狭める図書室にするとの考えに立つのではなく、今までどおり存続し、逆に多くの市民が利用やすい図書館とすべきです。

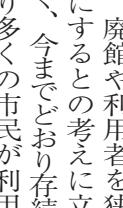
答 経営改革プランに沿って、市として平成19年度をもつて廃止の方向性が決定されています。教育委員会としても行財政改革の視点から廃止が決定されたことを重く受け止め、その方向で検討をしてきました。しかし、利用実態や立地などの状況から、図書館機能の一部を残していくたいとの考えを持っています。現在、平成20年度から中央図書館の分室として、子どもに特化させていく方向で検討しているところです。



スポーツ大会等に AEDの貸し出しを

可能かどうかを検討

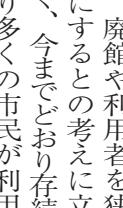
高口 靖彦(公明党)



地域猫化、市の対策は

地域との協力で進めていく

梅田 春生(市民フォーラム)



地域との協力で進めていく

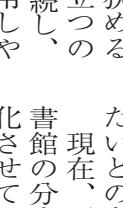
柴崎図書館の存続を

子どもに特化して分室に

中島 光男(公明党)

問 柴崎図書館が廃館といふ話題が広まるに従い、子どもを持つ保護者や高齢の方から一齊に反発の声が広がっています。この地域は市内で最も高齢化が進んでおり、憩いの場ともなる図書館の存在は強く望まれる地域です。また、混雑する駅周辺や幹線道路、あるいは踏切を越えて中央図書館へ行くには、子どもや高齢者には危険です。廃館や利用者を狭める図書室にするとの考えに立つのではなく、今までどおり存続し、逆に多くの市民が利用やすい図書館とすべきです。

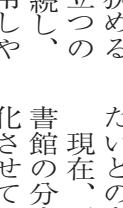
答 経営改革プランに沿って、市として平成19年度をもつて廃止の方向性が決定されています。教育委員会としても行財政改革の視点から廃止が決定されたことを重く受け止め、その方向で検討をしてきました。しかし、利用実態や立地などの状況から、図書館機能の一部を残していくたいとの考えを持っています。現在、平成20年度から中央図書館の分室として、子どもに特化させていく方向で検討しているところです。



スポーツ大会等に AEDの貸し出しを

可能かどうかを検討

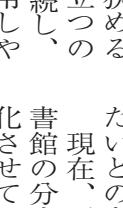
高口 靖彦(公明党)



地域猫化、市の対策は

地域との協力で進めていく

梅田 春生(市民フォーラム)



地域との協力で進めていく

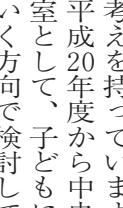
柴崎図書館の存続を

子どもに特化して分室に

中島 光男(公明党)

問 柴崎図書館が廃館といふ話題が広まるに従い、子どもを持つ保護者や高齢の方から一齊に反発の声が広がっています。この地域は市内で最も高齢化が進んでおり、憩いの場ともなる図書館の存在は強く望まれる地域です。また、混雑する駅周辺や幹線道路、あるいは踏切を越えて中央図書館へ行くには、子どもや高齢者には危険です。廃館や利用者を狭める図書室にするとの考えに立つのではなく、今までどおり存続し、逆に多くの市民が利用やすい図書館とすべきです。

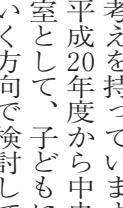
答 経営改革プランに沿って、市として平成19年度をもつて廃止の方向性が決定されています。教育委員会としても行財政改革の視点から廃止が決定されたことを重く受け止め、その方向で検討をしてきました。しかし、利用実態や立地などの状況から、図書館機能の一部を残していくたいとの考えを持っています。現在、平成20年度から中央図書館の分室として、子どもに特化させていく方向で検討しているところです。



スポーツ大会等に AEDの貸し出しを

可能かどうかを検討

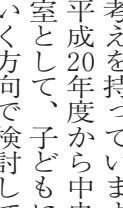
高口 靖彦(公明党)



地域猫化、市の対策は

地域との協力で進めていく

梅田 春生(市民フォーラム)



地域との協力で進めていく

柴崎図書館の存続を

子どもに特化して分室に

中島 光男(公明党)

問 柴崎図書館が廃館といふ話題が広まるに従い、子どもを持つ保護者や高齢の方から一齊に反発の声が広がっています。この地域は市内で最も高齢化が進んでおり、憩いの場ともなる図書館の存在は強く望まれる地域です。また、混雑する駅周辺や幹線道路、あるいは踏切を越えて中央図書館へ行くには、子どもや高齢者には危険です。廃館や利用者を狭める図書室にするとの考えに立つのではなく、今までどおり存続し、逆に多くの市民が利用やすい図書館とすべきです。

答 経営改革プランに沿って、市として平成19年度をもつて廃止の方向性が決定されています。教育委員会としても行財政改革の視点から廃止が決定されたことを重く受け止め、その方向で検討をしてきました。しかし、利用実態や立地などの状況から、図書館機能の一部を残していくたいとの考えを持っています。現在、平成20年度から中央図書館の分室として、子どもに特化させていく方向で検討しているところです。

